

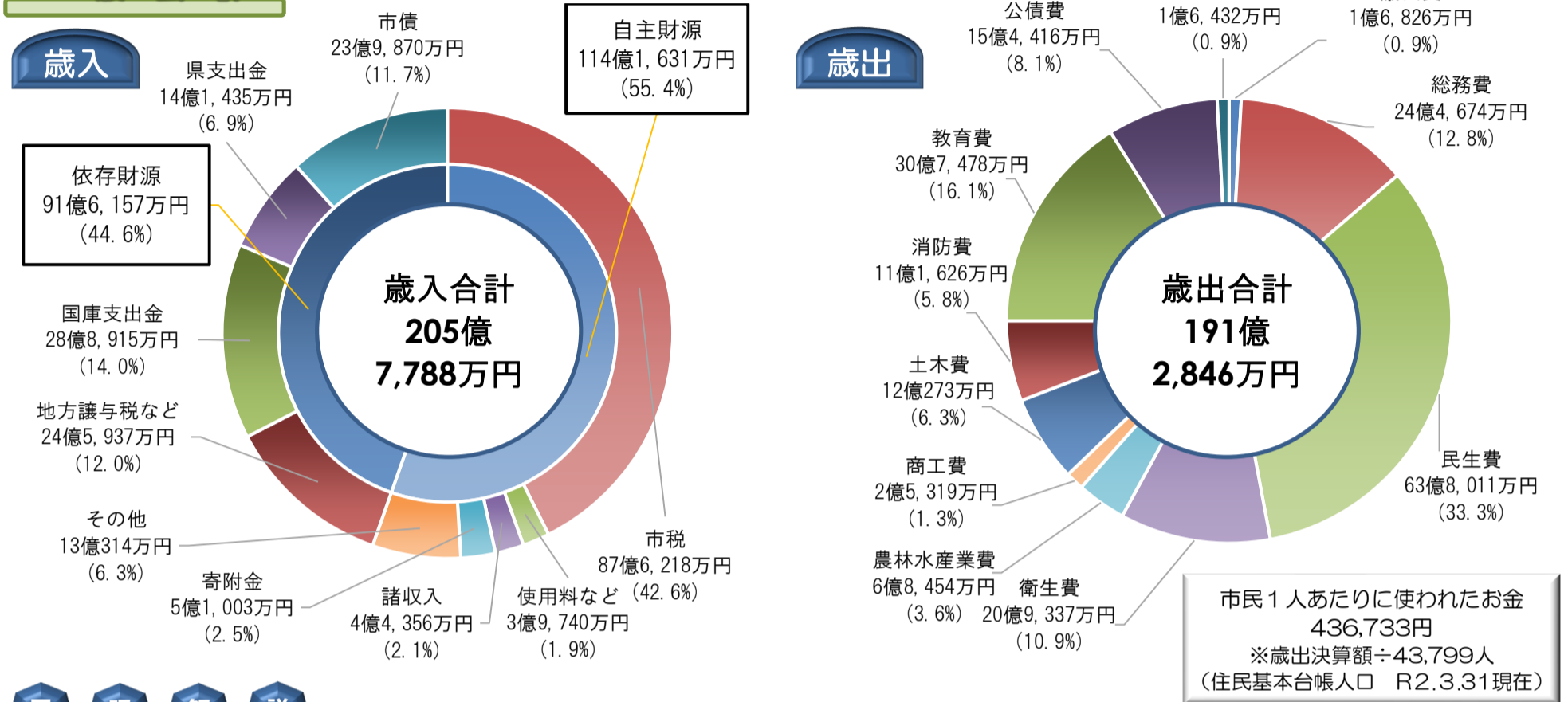
財政状況のお知らせ

市民の皆さんが納めた税金などが、どのように使われているかをお知らせします。
今回は令和元年度決算の概要、健全化判断比率などの状況、令和2年度上半期予算執行状況などを公表します。

令和元年度決算の概要

一般会計の歳入決算額は205億7,788万円で前年度比16.5%の増、歳出決算額は191億2,846万円で前年度比15.4%の増となっており、歳入・歳出ともに大幅に増加しているのは、国庫支出金・市債を活用して実施した「天羽中学校校舎改築事業」約11億1千万円、「小中学校空調設備設置事業」約4億6千万円のほか、「台風災害関連経費」約6億3千万円などが大きな要因として挙げられます。
その他の歳入では、台風災害関連経費の財源として財政調整基金を約3億9千万円取り崩し、ふるさとふつつ応援寄附金は約4億7千万円に増額となりました。

一般会計

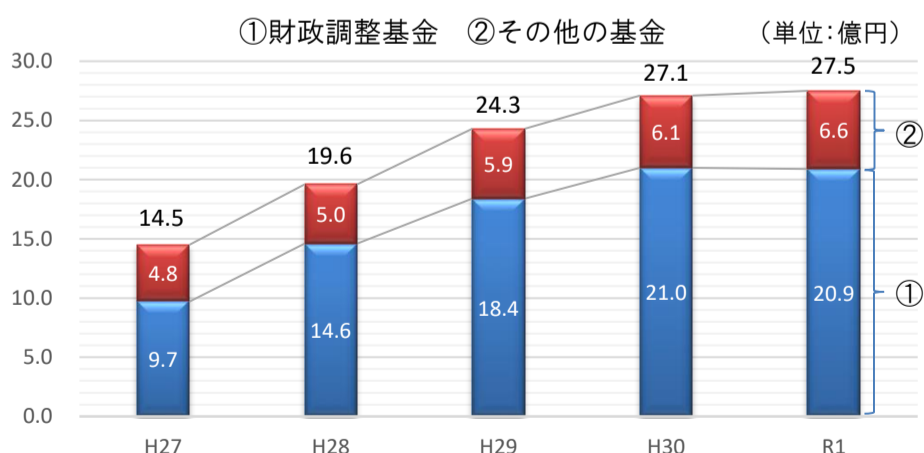


用語解説

自主財源	富津市が自らの権限で収入できる財源
市税	市民税、固定資産税など市に納付される税金
使用料など	公共施設の使用料、住民票の交付手数料など
諸収入	市税延滞金、預金利子、貸付金の元金収入、その他雑入など
寄附金	ふるさと納税などの寄附金
その他	財産収入、基金からの繰入金、前年度で生じた剰余金のうち当該年度への繰越金
依存財源	国・県から交付される財源など
地方譲与税など	国や県が徴収した特定の税などから分配されるもの
国庫支出金	市の事業に対し国から交付されるもの
県支出金	市の事業に対し県から交付されるもの
市債	国や金融機関などから調達する長期的な借入金

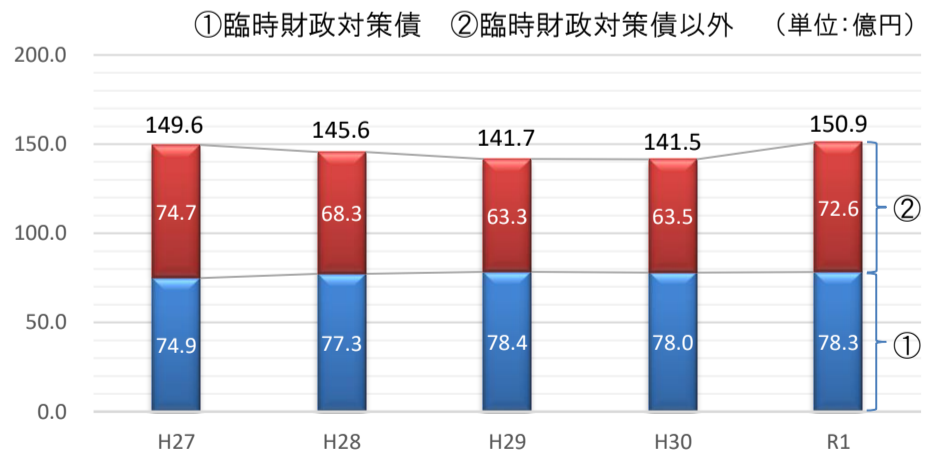
目的	内容
議会費	市議会の運営など
総務費	庁舎の管理、企画関係、税金賦課徴収、戸籍管理、選挙、統計調査など
民生費	子育て支援、生活保護、高齢者支援、障がい者支援、保育所運営費など
衛生費	各種検診、予防接種、環境対策、ごみ処理、公害対策費など
農林水産業費	農業・林業・水産業の振興費など
商工費	観光振興、商工振興、消費生活対策など
土木費	道路・橋・河川・公園・市営住宅の管理、都市計画など
消防費	火災の予防・消火、救急活動、消防署・消防車両の管理・運営など
教育費	小・中学校、公民館、スポーツ施設などの管理・運営、文化財の保護など
公債費	市の借入金（市債）の返済金
その他	災害復旧、労働対策など

一般会計の基金(貯金)残高推移



市の貯金である基金の残高は、前年度の27億1千万円から4千万円増の27億5千万円となりました。このうち、財政調整基金は、前年度決算剰余金の2分の1以上の3億8千万円を積み立てましたが、台風災害に伴い3億9千万円を取り崩し、20億9千万円となりました。

一般会計の市債(借入金)残高推移



市の借入金の残高は、天羽中学校校舎改築事業や台風などに伴う災害復旧事業の財源としたことにより、前年度の141億5千万円から9億4千万円増の150億9千万円となりました。市債は臨時財政対策債などを除き、将来に渡り便益を受けることとなる道路や建物の整備費などを借り入れ、その支払を分割させることで、現世代と後世代の住民とで負担を公平化させる役割を担っています。

全ての会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額	企業会計名	収入額	支出額	差引額	
一般会計	205億7,788万円	191億2,846万円	14億4,942万円	温泉供給事業	86万円	241万円	△155万円	
特別会計	115億5,826万円	113億9,866万円	1億5,960万円	収益的	0円	0円	0円	
内訳	国民健康保険事業	58億9,935万円	57億6,021万円	1億3,914万円	資本的	0円	0円	0円
	後期高齢者医療	5億8,705万円	5億8,507万円	198万円				
	介護保険事業	50億7,186万円	50億5,338万円	1,848万円				

※収益的…事業収益が目的 ※資本的…施設整備が目的

健全化判断比率等の状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、「健全化判断比率」と公営企業の「資金不足比率」を公表します。算定した比率が国の定めた早期健全化基準や財政再生基準を上回ると、財政運営上危険な状態と判断され、それぞれの計画に従い財政健全化を図ることになります。富津市の令和元年度決算に基づく各比率は、いずれも基準を下回っています。

健全化判断比率

指標名	富津市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	13.16%	20.00%
連結実質赤字比率	赤字なし	18.16%	30.00%
実質公債費比率	8.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	69.0%	350.0%	

資金不足比率

会計名	富津市の比率	経営健全化基準
温泉供給事業	不足なし	20.0%

財政健全化の比率はいずれも基準を下回っています。引き続き経営改革に取り組んでいきます。

用語解説

- 実質赤字比率・・・一般会計の実質的な赤字が、市の年間の収入に対して、どの程度かを示す指標
- 連結実質赤字比率・・・公営企業会計を含む全ての会計を合算し、市全体としての赤字の程度を示す指標
- 実質公債費比率・・・借入金の実質的な年間返済額が、市の年間の収入に対して、どの程度かを示す指標
- 将来負担比率・・・将来的に市が支払うべき負担見込額が、市の年間の収入に対して、どの程度かを示す指標
- 資金不足比率・・・各公営企業における資金不足が、事業の規模に対して、どの程度かを示す指標

令和2年度上半期予算執行状況等（4月～9月）

令和2年度の予算の執行状況、市債の現在高などをお知らせします。予算の執行状況は上半期中の収入と支出を示すもので、市債の現在高は市の借入金の状況を示しています。これらは市の財政状況が現時点でどのような状況にあるかを市民の皆さんにお伝えするため、年2回（5月・11月）公表しています。

一般会計の執行状況

歳入	予算現額	収入済額	収入率
市税	88億7,887万円	53億8,613万円	60.7%
譲与税など	23億1,300万円	12億3,547万円	53.4%
使用料など	3億8,008万円	1億5,284万円	40.2%
国庫支出金	83億2,792万円	54億1,504万円	65.0%
県支出金	25億5,839万円	2億4,468万円	9.6%
寄附金	5億211万円	8,125万円	16.2%
諸収入	4億31万円	7,939万円	19.8%
市債	30億1,400万円	0円	0.0%
その他	13億123万円	9億9,624万円	76.6%
合計	276億7,591万円	135億9,104万円	49.1%

特別会計の執行状況

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	61億3,576万円	25億622万円	21億1,732万円
後期高齢者医療	6億6,474万円	2億1,308万円	1億2,984万円
介護保険事業	50億3,322万円	20億5,241万円	21億1,540万円

企業会計の執行状況

会計名	収入		支出		
	予算現額	収入済額	予算現額	支出済額	
温泉	収益的	91万円	44万円	320万円	18万円
	資本的	1万円	0円	1万円	0円

※収益的…事業収益が目的 ※資本的…施設整備が目的

歳出	予算現額	支出済額	執行率
議会費	1億9,888万円	1億292万円	51.8%
総務費	29億419万円	10億1,363万円	34.9%
民生費	115億6,077万円	66億9,472万円	57.9%
衛生費	31億6,811万円	8億1,158万円	25.6%
農林水産業費	16億1,178万円	1億4,984万円	9.3%
商工費	4億169万円	1億6,012万円	39.9%
土木費	20億856万円	6億6,431万円	33.1%
消防費	12億2,819万円	5億223万円	40.9%
教育費	25億4,049万円	5億8,131万円	22.9%
公債費	15億6,489万円	7億6,398万円	48.8%
その他	4億8,836万円	1億8,410万円	37.7%
合計	276億7,591万円	116億2,874万円	42.0%

※予算現額とは、当初予算額に補正予算額などを加えたもの

市債の現在高

一般会計	143億5,917万円
特別会計	0円
企業会計	0円

一時借入金の状況

一般会計	0円
特別会計	0円

市民の負担状況(市債)

一般会計	
1人あたり	329,346円
1世帯あたり	709,726円

人口:43,599人 世帯:20,232世帯
(住民基本台帳人口 R2.9.30現在)

※1万円未満は原則四捨五入しています。

市の財産(主なもの)

土地	2,015,048㎡
建物	154,316㎡
財政調整基金	25億5,690万円
その他の基金	17億7,973万円